

一般財団法人水原フィラテリー財団

2023年度事業報告書

2023(令和5)年4月1日～2024(令和6)年3月31日

〔概要〕 コロナウイルス感染症は2023年5月から感染症法上の位置付けが「5類」に引き下げられ、イベントの人数制限がなくなり、マスク着用が任意になるなど、様々な点でコロナ前に戻りました。切手の博物館でも、ほぼ全ての事業活動や各種のサービスを再開しました。コロナ禍をきっかけに開始した配信サービスは今年度も継続し、さらにSNS(インスタグラム、ユーチューブ等)を利用した活動に発展させました。郵便切手文化の普及・振興、支援・助成を引き続き行っています。

I. 継続事業

1. 資料の収集、保管、公開

郵便切手類及び郵便切手関連資料を収集、保管するとともに、展覧施設「切手の博物館」における展覧会を通して公開しました。

(1) 資料の収集・保存管理

- ①日本及び世界各国の新切手を常時購入し、発行国別・地域別にレファレンス・コレクションとして整理・管理を行っています。
- ②図書収蔵委員会を月1回開催し、郵便切手関連資料の購入検討、新規受入図書の項目別クロス・インデックス作り及び収蔵図書の件名統一を続けています。
- ③郵趣文献類については、20名の方から715冊(単行本86冊、雑誌629冊)が寄贈されました。(公財)日本郵趣協会(以下(公財)略)及び(株)日本郵趣出版発行の全刊行物、並びに郵趣団体発行の支部報や雑誌の寄贈も受けています。
- ④世界の歴史に残るパンデミックな出来事の記録として、コロナウイルス(COVID-19)を題材とした郵便切手類を収集・保存しています。

(2) 企画展示・特別展示の開催

展覧施設「切手の博物館」において、以下の展覧会を開催しました。

① 企画展示

1階展示室で、3ヵ月ごとにテーマを替えて行いました。展示内容及び広報については、企画展示委員会において協議しています。

会期	展覧会名	開館日数	観覧者数(名)
4月1日(土)～6月29日(木)	エリザベス女王の生涯	77	2,659
7月1日(土)～10月1日(日)	奇想天外な植物	79	2,721
10月4日(水)～12月28日(木)	踊る人々	75	2,299
1月5日(金)～3月31日(日)	世界のごちそう	75	2,971
合計		306	10,650

②特別展示

○3階展示室で、有料展を次の通り開催しました。

会 期	展 覧 会 名	開館日数	観覧者数(名)
7月22日(土)～8月20日(日)	きて★みて★きって2023	26	895
12月2日(土)～12月24日(日)	切手の博物館のクリスマス	20	930
2月3日(土)～2月14日(水)	切手の博物館でバレンタイン	10	382
合 計		56	2,207

○3階展示室で、無料展を次の通り開催しました。

9月9日(土)～9月17日(日)…第20回切手はり絵コンテスト作品展

※以下の期日に豊島郵便局が臨時出張所を開設、小型印の押印サービスを実施しました。

5月6日(土)…母の日のおたより2023

5月18日(木)…国際博物館の日

7月23日(日)…ふみの日

12月6日(水)・20日(水)・24日(日)…切手の博物館のクリスマス

2024年2月14日(水)…切手の博物館でバレンタイン

(3) 蔵書の公開

「切手の博物館」図書閲覧室では、蔵書を開架図書と閉架図書に区分し、一般の利用に供しています。閉架図書の利用は36名、85冊でした。

(4) 入館料の特典

「切手の博物館」の入館料に以下の特典を設けました。

- ①毎月23日・ふみの日（10月は休館日に当たるため24日(火)）の入館料無料。
- ②厚生労働省が推進する「児童福祉週間」（5月2日(火)～5月7日(日)）において、小中学生入館料無料。（小中学生の入館者数20名）
- ③国際博物館会議(ICOM)及び(公財)日本博物館協会（以下(公財)略）が提唱する「国際博物館の日」（5月18日(木)）の入館料無料。（入館者数149名）
- ④東京都「家族ふれあいの日」に協力し、毎日曜日、子ども連れの場合は小中学生入館料無料。
- ⑤日本博物館協会・国際博物館会議等、他機関の会員証の提示で入館料無料または減免。

2. 展覧施設「切手の博物館」の運営管理

(1) 来館者サービス

「切手の博物館」の来館者の満足度を高めるために、以下のサービスを提供しました。

- ①館内を余すところなく楽しんでもらうための「切手の博物館・攻略ガイド」をホームページに掲載。
- ②1階のパソコン・コーナーで、企画展示のテーマに合わせて全国の風景印を紹介するほか、切手の博物館のホームページの閲覧サービスを提供。
- ③展示の観覧を助けるルーペ及びハンドライトの貸出し。（貸出人数235名／171名）
- ④図書閲覧室では、国内外の新刊本・話題本などを紹介すると同時に、一部の書籍を販売。また、コピーサービスを提供。（コピー利用人数77名）

- ⑤「司書の三つ押し」と題したお勧め図書（閉架図書を含む）の無料閲覧サービスの実施。（毎月更新）
- ⑥すべての企画展示で、ホームページにプレゼント・クーポンを付与。（交換人数905名）
- ⑦来館のたびにスタンプを押し、一定の数になるとプレゼントと交換できる「ウェルカム・カード」を発行。（プレゼントとの交換人数49名）
- ⑧小中学生向けに、展示を見て答える「切手クイズ」を実施。（参加者645名）
- ⑨切手の博物館のイベント案内や新切手の発行案内などを掲載した情報チラシ「MAYっこ」を、毎月1回、ふみの日(23日)に発行。
- ⑩1・2階の入館を対象とした「年間パスポート」を発行。（期末登録者数23名）
- ⑪「自画像切手ポストカード」作成代金を70歳以上の来館者へキャッシュバック。（利用人数67名）
- ⑫英文パンフレットの配布。
- ⑬公衆無線LANサービス「フリーWi-Fi」の提供。

(2) 記念品の頒布

「切手の博物館」の来館記念品として、日本及び世界各国の郵便切手類並びにスーベニアグッズを販売しています。

(3) 市民参画

- ①切手の博物館メンバー「MAY(メイ)」の会員を引き続き募集し、会員にはメンバーニュース「MAY」及び「受入図書リスト」を配布しました。期末の会員数は67名で、内訳はM(メジャー)メンバー44名、A(アシスト)メンバー22名、Y(ヤング)メンバー1名です。
- ②切手はり絵(切手の博物館内・出張)及び切手たんけん隊の補助役として、登録ボランティア制度を設けています。（期末登録者数3名）
- ③切手はり絵に使用する切手の区分には、ボランティア延べ36名の協力を得ました。

3. 普及啓発事業

(1) 施設内における活動

郵便切手文化に触れる楽しみを広げ、その社会的プロセスを通じてSDGs（持続可能な開発目標）の考え方を理解してもらうため、「切手の博物館」館内で以下の活動を実施しました。（カッコ内はSDGs目標）

- ①展覧会に即したギャラリートーク(展示解説)等を開催（目標4）
 - 「踊る人々」展…なでしこ切手倶楽部主宰・ばばちえ氏によるギャラリートーク（参加20名）
 - 「切手の博物館のクリスマス」…展示協力者・木村正裕氏によるスペシャルトーク（参加40名）
- ②各種のワークショップ及び体験イベントを開催（目標4・12）
 - 体験！切手はり絵…毎月第3日曜日、参加者366名
 - ちょっとだけ体験！切手はり絵…平日(火曜～金曜)、参加者29名
 - 「児童福祉週間」（5月2日(火)～5月7日(日))イベント
 - 切手はり絵（参加者24名）、カード&しおり作り（参加者40名）、切手たんけん隊（参加者4名）
 - 切手たんけん隊…8月土曜日(4回)、参加者14名
 - 切手でデザイン！カード&しおり作り…11月ふみの日、参加者40名
- ③日本郵便(株)の切手デザイナー（吉川亜有美氏）とのコラボレーションによる手紙振興イベントを、特別展示「切手の博物館のクリスマス」と連動して開催（目標4・11・17）

- 小型印(3種)の原図及びオリジナルポストカード(1種)の原図提供
- スペシャルトーク&サイン会…12月9日(土)、参加者10名(事前応募制)
- ④国際博物館の日(5月18日(木))記念事業として学芸員によるギャラリートークを開催(目標4)
…参加者20名
- ⑤図書館記念日(4月30日(日))、国際博物館の日(5月18日(木))、及び全国切手展 JAPEX2023 期間中(11月3日～5日)の閉架図書利用料無料(目標4・11)…利用者13名
- ⑥2024年用年賀はがきの拡大図版と解説を1階エントランス壁面にてパネル展示(目標4・17)
- ⑦お年玉付年賀はがき・年賀切手の1等賞品に入っている切手デザイナー書き下ろしオリジナルフレーム切手シート(非売品)を2階閲覧室にて特別展示(目標4・17)

(2) 社会に向けての活動

以下の活動を通じて、広く社会一般に郵便切手文化についての知識を広げ、興味を育む活動を行っています。

- ①豊島区子どもスキップ(小学生の放課後の居場所)において、出張切手はり絵を4回開催(参加者74名)。また、下落合図書館(新宿区)において一般向け出張切手はり絵を開催(参加者15名)。
- ②目白小学校(豊島区)の授業の一環として、切手の博物館を案内。(2年生、36名)
- ③日本女子大豊明小学校(文京区)において郵便に関する出前授業を実施。(2年生、112名)
- ④日本郵趣協会が行っている「切手趣味週間 春の全国ミニ切手展」キャンペーンに協力し、近郊の博物館3ヵ所でミニ切手展を開催。
- ⑤郵便切手文化に関する出版物として、「続・切手もの知りBook」を5月25日に、「絵葉書と切手で知るクリスマスの世界」を11月20日に刊行。
- ⑥日本郵趣協会と協働して諸活動を推進。
 - A. 社会貢献事業「手紙を書こう！プロジェクト2023」。
 - B. STAMP-SHOW2023のスタンプラリーとコラボして、「切手の博物館でスタンプを押して記念品プレゼント」を実施。(4月21日～30日・プレゼント63名)
 - C. 「ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2023」のコンクール審査に審査員1名を派遣。
 - D. 第58回全国切手展 JAPEX2023 の切手デザイナートーク「浮世絵切手のQ&A」で企画・MCを担当。

(3) ホームページ及び公式SNSを利用した活動

ホームページ及びSNS(Instagram、X(旧Twitter)、YouTube、フェイスブック)を利用した発信に力を入れました。

- ①学芸員による企画展示の解説を毎月ふみの日(23日、10月は24日)に配信。
- ②全国230のミュージアムが参加する『おうちミュージアム』(オンラインによる学習プログラム)に賛同し、切手を使って家で楽しく遊んだり学んだりできるコンテンツを提供。
- ③オンライン切手講座をYouTubeで配信。

(4) 広報活動

- ①切手の博物館で開催の展覧会及び「体験！切手はり絵」をPRするチラシ等を作成し、近隣の施設に配布しました。
- ②切手の博物館の企画展示、特別展示、イベントなどの情報を、ホームページ、SNS、チラシミュー

ージアム（美術館・博物館等のチラシアプリ）を通じて発信しました。また、これらの情報をマスコミ各社（新聞・ラジオ・テレビ・出版社・Webサイトなど）及び関連施設（大学、団体、店舗など）へ広報しました。

- ③切手などに関するマスコミの照会・取材、また単行本や学習教材の挿絵用に切手を使いたいという申込みにも、積極的に応じています。
- ④郵便切手文化の専門誌において切手の博物館の企画展示、特別展示などを案内するなど、広報に努めました。
- ⑤切手の博物館日より「MAYっこ」を1ヵ月に1回、豊島区の子どもスキップなどに送り、地域への広報に努めています。
- ⑥切手の博物館の入館料割引換券の目白駅常置や、(公財)日本野鳥の会などの団体の会員特典に協力するとともに、「さくら日本切手カタログ」に入館無料クーポンを付けるなど、来館者促進を企図しました。

(5) 他館との交流

- ①豊島区の「庁舎まるごとミュージアム官民連携事業企画展」に協力して、切手はり絵作品を貸出展示しました（7～9月）。同時に行われた、豊島区内の文化施設を巡るクイズラリー「ミュージアムに行こう！」（8～9月）にも参加、切手の博物館をPRすることにつながりました。
- ②角川武蔵野ミュージアムの「魚^{ぎよ}とこ水族館～金魚日和～」展（7～8月）に、金魚切手（中国）を貸し出しました。

4. 学術調査研究事業

(1) 調査研究

- ①紀要編集委員会の査読を経て、研究者の調査研究成果を取りまとめた「切手の博物館研究紀要」（第20号）を発行しました。
- ②日本博物館協会主催の全国博物館長会議（オンライン開催）、文化庁主催の「新登録制度の拡充による博物館の充実に向けて」（オンライン開催）、日本博物館協会主催の「これからの『対話と連携の博物館』 博物館と図書館MLA連携の可能性」（オンライン開催）、豊島区文化商工部主催のミュージアム会議に出席し、学術調査研究事業の質的向上に努めています。
- ③科学研究費補助金の指定研究機関として登録しています。

(2) 鑑定

鑑定委員会のもとで日本郵便切手類の真贋の鑑定を行い、46点の鑑定書を発行しました。

5. 顕彰事業

「第20回切手はり絵コンテスト」（ジュニアの部・一般の部）を開催しました。「きて★みて★きって2023」開催期間中に作品募集を行い、全応募作品260点を切手の博物館において展示するとともに、優秀作品には賞状並びに記念品を授与しました。

6. 文化支援・助成事業

(1) 文化支援

- ①郵便切手文化活動の支援の場として「切手バザール」（8回）、「0tegamiフリマ」（日本郵趣協会と

共催、4回)、及び「ミニ図書バザール」(1回)を開催しました。

②日本郵趣協会主催の学術調査研究発表会などに3階展示室を提供(17回)し、公益活動を支援しました。

(2) 助成

①郵便切手文化の振興を図るため、日本郵趣協会主催の展覧会において、特別賞を寄贈しました。(1件)

②郵便切手に関する出版物に対して、費用の一部を助成しました。(7件)

③博物館の社会貢献活動の一つとして、1階エントランスに専用ボックスを置いて紙付き古切手の寄付を募り、集まった古切手は公益法人に寄贈する活動を続けています。

Ⅱ. その他事業

鑑賞・収集の対象となる日本及び世界各国の郵便切手類を、ミュージアム・ショップにて受託販売しています。

附属明細書(事業報告関係)

補足すべき重要な事項はないため、附属明細書は省略する。